

保育士自己評価

2025 年度

<保育の理念・保育方針の理解>

	評価項目	A	B	C	総評
1	あなたは、「子どもの権利条約」や「保育所保育指針」、園の「全体的な計画」の理念をよく理解し、保育内容や保育方法を考える時のガイドラインとしていますか。		☐		・ 保育園が大事にしていることは、子どもが主体の保育。こどもの権利条約、保育所保育指針、全体的な計画を基に会議や園内研修などを通して、職員一人ひとりが理解を深めている。 ・ 保育の内容が常に子どもたちが主となっているか。子どもに寄り添った行動・言動をとっているかなど、定期的に振り返って保育を行っている事が大切であることを理解し、取り組んでいる。その中で、子どもの側で声掛けをして、言葉を手渡しすることが、保育園職員の課題になっていると感じる。褒める声が多いことで、周りのこどもに、いい刺激であればいいが、劣等感を与えてしまっていることも考えられる。また、周りに聞こえる声で、自分にとって恥ずかしいことを言われることも子どもの人権を傷つけてしまっていることも考えられるので、こどもに働きかける声の音量は配慮が必要である。 ・ 玩具の作成、環境整備は保育環境を整える上で、最も重要と言える。保育者一人ひとりが、子どもたちに何が必要か保育を通して常に意識し、行動に移していく。そのためには、クラス間での連携が必要であり、お互いのクラスの状態を把握しあい、園全体の環境の向上につなげていく。 ・ お互いの保育内容の向上のために意見を出し合えるように、職員間での日頃から雰囲気の良い関係を築く。
2	子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。		☐		
3	あなたは一人ひとりのありのままの姿を受け入れることができますか。	☐			
4	あなたは、できるだけ否定的な言葉がけはしないようにしていますか。		☐		
5	生活やあそびの中で、子ども自身が選択できるような問いかけをしていますか。		☐		
6	子どもの傍に行って声をかけ、言葉を手渡していますか。		☐		
7	子どもを先入観で決めつけないようにしていますか。		☐		
8	一人ひとりのいいところ、好きなあそびが見つけられていますか。		☐		
9	性差や個人差、家庭状況の違い、文化の違いなどに留意して、今その子に何が必要か見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。		☐		
10	温かい受容的な雰囲気や関りが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育をしていますか。	☐			
11	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしていますか。	☐			
12	子どもの前で話をするとき、正しい日本語で話していますか。自分を表現するとき一人称「わたし」と言っていますか。		☐		
13	子ども一人ひとりの発達状況と子どもの置かれている事情を理解し、保育を行なっていますか。		☐		
14	子ども自身が、自分は大切にされていると感じられる接し方をしていますか。	☐			
15	保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか。	☐			
16	子どもの要求をその都度受け止めて対応していますか。		☐		
17	子どもの生活を 24 時間の連続したサイクルでとらえ、1 日の生活がリズムよく、また無理なく過ごせるように配慮していますか。		☐		
18	子どもがのびのびとからだを動かせるように目的を持って、時間、場所を確保し遊びを取り入れていますか。		☐		
19	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。		☐		
20	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。		☐		

21	子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めていますか。		○		
22	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けていますか。		○		
23	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていますか。		○		
24	適切でない対応をしている他の職員の行為を目にした時、助言ができますか。		○		

<保育の内容>

	評価項目	A	B	C	総評
1	あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」や保育園の「全体的な計画」を基にしていますか。	○			・客観的にクラスの現状を見る目を養い、的確に子どもの課題を判断できる知識をつけていく力が必要。 ・クラスで、課題を共有する時間、保育を振り返る習慣でついてきているので、月案・週案・日案に反映することができている。 ・出生時の状況が、その後の発達に繋がっている可能性があることも念頭に置いて、子どもの発達を見るようにする。また、子どもを取り巻く環境から、一人ひとりを知ろうとする努力をすることで、子ども自身が自分は大切にされていると感じられる関わりに繋げていく。 ・子どもたちにとって必要な環境を個々で理解し、共通認識を持ち環境を整えていく。 ・子どもの気持ち「やってみよう！」を大切にその瞬間を逃さないためにも、保育園の中の玩具や資材の種類、保管場所を分かっておくことも、保育の助けになると思う。 ・日頃より、ニュースなどで社会について知る機会を作り、保護者との共有や、職員間でも話題にする。 ・0歳から就学前までの見通しを持った援助を行うために職員同士での学びあいを重ねていく。 ・こどもが大人の振る舞いから学べるように意識する。
2	あなたの指導計画は、子どもの現状をしっかりとらえ、目標や活動内容はより具体的なものになっていますか。		○		
3	記録を踏まえて、指導計画に基づく教育・保育を見直し、改善を図っていますか。		○		
4	指導計画の評価反省は、次の指導計画(年間・月・週)作成に反映できるものとなっていますか。		○		
5	子どもの食事の様子を把握し、無理のない援助ができていますか。	○			
6	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。		○		
7	月・週・日案などが、実際の子どもの姿や興味・関心に合っていたかという視点から自分の評価・反省をしていますか。その結果を次の指導計画に活かしていますか。		○		
8	クラスで立てた目標を常に意識して取り組んでいますか。	○			
9	「全体的な計画」やクラスの指導計画のねらい・内容を職員や保護者に分かるように伝えることができますか。		○		
10	子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、受け止め、安心してできるように、その子の気持ちに寄りそえていますか。		○		
11	食事や排泄など一斉ではなく、個々のリズムを尊重していますか。またその時、一人ひとりに応じた援助ができていますか。	○			
12	子ども自身が、自分たちのことは自分たちでという思いや見通しがもてるような一日の生活の流れになっていますか。		○		
13	子ども一人ひとりの月齢や興味、発達段階に応じたおもちゃや遊びの提供ができていますか。また、自分で選べるような環境になっていますか。		○		
14	5歳児卒園までの見通しを持って、その子の発達段階に応じた働きかけや援助ができていますか。		○		

15	子どもが十分に戸外あそびや自然と触れ合えるように、目的をもって環境を計画し、十分に保障できていますか。またその時、あなたも一緒に楽しんで遊んでいますか。		☐		
16	あなたは、子どもたちの「いや!」「自分で!」「ひとりで!」という子どもの気持ちを尊重した関りができていますか。		☐		
17	子どもが玩具の取り合いなどでぶつかった時、危なくないようにしばらくは見守り、お互いの気持ちに気づくようなかわりができていますか。	☐			
18	自己を表現する力や相手の言うことをきく姿勢が持てるよう、あなたはそれぞれの子どもの立場や気持ちを汲み取った仲立ちをしていますか。		☐		
19	子どもと会話をする時に、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	☐			
20	あなたは、自分の服装の色合い、頭髮、爪などの清潔や、室内の清潔にも配慮していますか。		☐		
21	保育室やトイレ、園庭など、施設全体の衛生管理、整備を職員間で話し合って、確認できていますか。		☐		
22	子どもたち同士が、お互いによいところや得意なこと、苦手なことなど知り合うような活動や取り組みをしていますか。		☐		
23	自分のもの、他人のもの、共同のものの区別に気づき、大切にできるようにしていますか。	☐			
24	社会の出来事について、子どもにわかるように説明できますか。			☐	
25	子どもたちが、いつでも好きな遊び（製作も含めて）ができるような環境整備ができていますか。		☐		
26	子どもたちが、一つの目標に向かって、力を合わせて取り組むことの楽しさが感じられるような活動ができていますか。		☐		
27	仲立ちをするとともに、最終的には子どもたちが自分たちで解決できるようにしていますか。	☐			

<保育内容 特別な配慮や支援を必要とする子どもの保育>

	評価項目	A	B	C	総合所見
1	保育園は、障害をもつ子どもそうでない子ども「共生」「共育」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方に、あなたは共感しますか。	☐			・支援を必要としている子どもだけに限らず、全ての子どもたちが生活しやすい環境を整えることを心がけている。 ・支援の方法など悩んだ時など、専門機関と連携し援助を受けることもできている。 ・誰もが参加できる活動を計画・実施できている。 ・保護者との話し合いの場は設けているが、気持ちに寄り添っているかが課題である。 ・お互いの違いを当たり前として受け入れる姿勢を保育者が示す事で、子どもた
2	障害児が入園した時、安全管理や個別対応など、その子を受け入れるための保育を積極的に進めようと考えていますか。	☐			
3	障害をもつ子ども持たない子ども、お互いの存在を認め、仲間として関わられるような環境づくりや活動を計画・実施できていますか。		☐		
4	日常的に障害児の保護者との話し合いの場を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。		☐		
5	障害児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境（道具等）を整える努力をしていますか。		☐		
6	医療機関や専門機関から相談や援助を必要に応じて受けていますか。	☐			

					ちが自然にお互いの個性を肯定し合える環境にしてい
--	--	--	--	--	--------------------------

〈保護者支援〉

	評価項目	A	B	C	総合所見
1	子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか。	○			・保護者に安心して保育園を利用してもらう事は、子どもの情緒にとっても大切であり、園での様子など成長を共有し、一緒に育児を楽しめる関係を築いていく。 ・保護者の方々に積極的に懇談会やイベントに参加したいと感じられるような内容を考えていき、特に保育での取り組んでいる内容など発信していく場として、活用していく事が必要。 ・どのような場面でも誠実な対応をする。
2	保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止め、適切に助言、援助していますか。		○		
3	保護者が積極的に保育園の取り組みに参加するよう働きかけ、子どもの成長や子育ての喜びが共有できるよう配慮していますか。	○			
4	保育に影響がでないように保護者対応にかかる時間を考えてしていますか	○			
5	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力をしていますか。	○			
6	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか。	○			
7	保護者からの相談内容などを自分一人の問題にしないで、園長・主任などに相談していますか。	○			

〈業務の向き合い方〉

	評価項目	A	B	C	総合所見
1	職場内で連携がとれていますか。（連携をとるように努めていますか。）		○		・クラス内のみでなく、園の職員としての自覚を持ち、それぞれの立場で思いやりをもって、状況把握しようと努力することが必要である。 ・自分の課題を知ることで、なにを学ぶべきかが分かるため、積極的に自分に必要な研修などを受けていく。 - また、日頃の生活でアンテナを張っておくことで保育に活かせる感性を磨くことに繋がっていく。 ・疑問や感想、意見を言い合える環境を築けるように、みんなのアイディアを出し合っていき、リーダーが中心となって取り組んでいきたい。 ・職員自身が主体的に仕事に取り組むことで、日々の保育を学びに繋げ、保育の質を向上させていくようにする。
2	職場の中で、組織の一員として自分ができることを心がけていますか。	○			
3	自分のクラスだけでなく、他のクラスや園全体のことに気を配っていますか。		○		
4	他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べる事ができていますか。			○	
5	職員会議等で必要と思う質問や意見をはっきり発言することはできていますか。		○		
6	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか。		○		
7	研修への参加や専門書により、知識や技能の向上にとりくんでいますか。		○		
8	自らの人間性や専門性の向上につとめて豊かな感性を磨く努力をしていますか。		○		
9	園内で知り得た事柄に対して、守秘義務を徹底できていますか。	○			
10	(リーダー)自分の役職における仕事内容を理解し、取り組んでいますか？		○		